

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-143387

(43)Date of publication of application : 21.05.2002

(51)Int.Cl.

A63F 5/04

(21)Application number : 2000-346426 (71)Applicant : HEIWA CORP

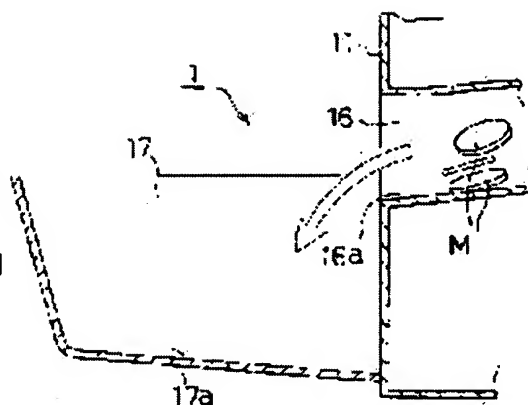
(22)Date of filing : 14.11.2000 (72)Inventor : NAKADA HIROYUKI

## (54) GAME MACHINE

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a game machine capable of preventing closing of a medal delivery port when medals are heaped up.

SOLUTION: In this game machine 1 for delivering the medals to a medal receiving pan 17 from the medal delivery port 16, the medal delivery port 16 is formed higher than a conventional medal delivery port in a range capable of discharging the medals to the medal receiving pan 17.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-143387

(P2002-143387A)

(43) 公開日 平成14年5月21日 (2002. 5. 21)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 6 3 F 5/04

識別記号

5 1 2

F I

A 6 3 F 5/04

テ-マ-コ-ト\* (参考)

5 1 2 P

5 1 2 U

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-346426 (P2000-346426)

(22) 出願日 平成12年11月14日 (2000. 11. 14)

(71) 出願人 000154679

株式会社平和

群馬県桐生市広沢町2丁目3014番地の8

(72) 発明者 中田 博幸

群馬県桐生市広沢町2丁目3014番地の8

株式会社平和内

(74) 代理人 100082669

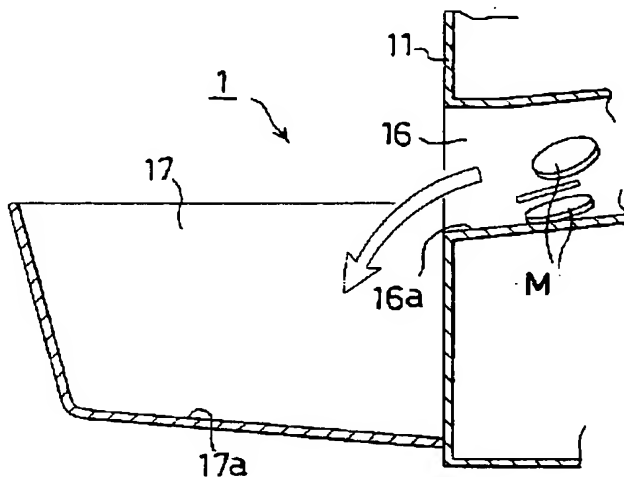
弁理士 福田 賢三 (外2名)

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【要約】

【課題】 メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することのできる遊技機を提供する。

【解決手段】 メダル払い出し口16からメダル受け皿17へメダルを払い出す遊技機1において、メダル払い出し口16を、メダル受け皿17へメダルを排出できる範囲で従前よりも高くした。



(2)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 メダル払い出し口からメダル受け皿へメダルを排出する遊技機において、前記メダル払い出し口を、前記メダル受け皿へメダルを排出できる範囲で従前よりも高くした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】 メダル払い出し口からメダル受け皿へメダルを排出する遊技機において、前記メダル払い出し口を従前よりも高くし、このメダル払い出し口に、前記メダル受け皿へメダルを誘導するメダル誘導ノズルを取り付け、このメダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】 請求項2に記載の遊技機において、前記メダル誘導ノズルのメダル排出口に回動メダル誘導ノズルを取り付け、この回動メダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】 請求項3に記載の遊技機において、前記回動メダル誘導ノズルの下端を前記メダル受け皿よりも高くした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項5】 請求項2に記載の遊技機において、前記メダル誘導ノズルを着脱可能に取り付け、このメダル誘導ノズルの天地を反転させて取り付けることにより、前記メダル誘導ノズルのメダル排出口を前記メダル受け皿の左右へ変更できるようにした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項6】 請求項5に記載の遊技機において、前記メダル誘導ノズルの着脱方向を前記遊技機の前後方向にした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項7】 請求項5に記載の遊技機において、前記メダル誘導ノズルの着脱方向を前記遊技機の上下方向または左右方向にした、ことを特徴とする遊技機。

【請求項8】 請求項2、請求項5から請求項7のいずれか1項に記載の遊技機において、前記メダル誘導ノズルの下端を前記メダル受け皿よりも高くした、ことを特徴とする遊技機。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、硬貨を含むメダルを使用するスロットマシン、またはパチスロ機などと称される遊技機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図11は従来の遊技機の一例を示すメ

ル受け皿の一部を破断した正面図、図12は図11のP-P線による部分拡大断面図である。

【0003】これらの図において、1は遊技機を示し、前面パネル11の後側に、外周面に複数種類の図柄が一行に描かれた3つのリール41A、41B、41Cが回転可能に配設されている。そして、前面パネル11には、3つのリール41A、41B、41Cの図柄を確認する表示窓12が中央部上側に設けられ、この表示窓12の右下側で、上下方向の中央部分に、メダルを投入するメダル投入口13が設けられている。

【0004】さらに、前面パネル11には、表示窓12の左下側で、上下方向の中央部分に、遊技を開始するスタート釦14が配設され、表示窓12の下側で、メダル投入口13とスタート釦14との間に、リール41A、41B、41Cの回転を停止させる、リール41A、41B、41Cに対応させた3つのストップ釦15A、15B、15Cが配設されている。また、前面パネル11には、正面下部の中央部分に、メダル払い出し口16が設けられるとともに、このメダル払い出し口16から排出されたメダルを受け止めるメダル受け皿17が配設されている。

【0005】次に、動作について説明する。まず、メダルをメダル投入口13へ投入した後、スタート釦14を押すことによって遊技が開始され、各リール41A～41Cが一斉に回転し始める。次に、各リール41A～41Cの回転速度が一定の速度に達した後、または各リール41A～41Cが回転し始めてから所定時間、例えば1秒が経過した後、各リール41A～41Cに対応したストップ釦15A～15Cを適当なタイミングで押すと、各リール41A～41Cの回転が停止させられる。

【0006】そして、各リール41A～41Cが停止した際、表示窓12に表示される図柄が、上段、中段、下段、または斜めに予め決められた所定の組み合わせで並ぶと、当たりになる。しかし、予め決められた所定の組み合わせ以外で並ぶと、外れになる。なお、当たりの場合、その図柄の組み合わせに応じて大当たり、中当たり、小当たりなどとなり、その当たりに応じたメダルがメダル払い出し口16へ払い出され、メダル払い出し口16からメダル受け皿17へ排出される。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】従来の遊技機1は、図11および図12に示すように、メダル払い出し口16の下面（先端下面）16aとメダル受け皿17のメダル受け面17aとの間に僅かな段差しか設けられていない。したがって、メダルが、順次排出されると、メダル払い出し口16の下に山積みとなり、メダル払い出し口16を閉ざしてしまうので、メダルを手で均してメダル払い出し口16を開ける必要がある。また、メダル払い出し口16がメダル受け皿17の左右方向の中央、または遊技機1の左右方向の中央に位置しているため、左右

(3)

3

どちらの手でもメダルを取り出すことができるものの、メダル受け皿17の左側または右側からメダルを最短距離で容易に取り出すことができないという難点がある。

【0008】この発明は、上記したような不都合を解消するためになされたもので、メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することができ、さらに、メダル受け皿の左側または右側からメダルを最短距離で容易に取り出すことのできる遊技機を提供するものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】この発明は、メダル払い出し口からメダル受け皿へメダルを排出する遊技機において、メダル払い出し口を、メダル受け皿へメダルを排出できる範囲で従前よりも高くしたものである。

【0010】また、この発明は、メダル払い出し口からメダル受け皿へメダルを排出する遊技機において、メダル払い出し口を従前よりも高くし、このメダル払い出し口に、メダル受け皿へメダルを誘導するメダル誘導ノズルを取り付け、このメダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くしたものである。そして、メダル誘導ノズルの下端をメダル受け皿よりも高くしたり、または、メダル誘導ノズルのメダル排出口に回転メダル誘導ノズルを取り付け、この回転メダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くするのが望ましい。さらに、メダル誘導ノズルのメダル排出口に回転メダル誘導ノズルを取り付け、この回転メダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くした場合、回転メダル誘導ノズルの下端をメダル受け皿よりも高くするのが望ましい。

【0011】また、この発明は、メダル払い出し口からメダル受け皿へメダルを排出する遊技機において、メダル払い出し口を従前よりも高くし、このメダル払い出し口に、メダル受け皿へメダルを誘導するメダル誘導ノズルを取り付け、このメダル誘導ノズルの下端を従前のメダル払い出し口よりも高くするとともに、メダル誘導ノズルを着脱可能に取り付け、このメダル誘導ノズルの天地を反転させて取り付けることにより、メダル誘導ノズルのメダル排出口をメダル受け皿の左右へ変更できるようにしたものである。そして、メダル誘導ノズルの着脱方向を遊技機の前後方向にしたり、メダル誘導ノズルの着脱方向を遊技機の上下方向または左右方向にしたり、さらに、メダル誘導ノズルの下端をメダル受け皿よりも高くするのが望ましい。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施形態を図に基づいて説明する。図1はこの発明の第1実施形態である遊技機のメダル払い出し口部分を示す部分拡大断面図であり、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図1は図12に相当する部分拡大断面図である。そして、図示を省略し

4

た部分は、従来例と同様に構成されている。

【0013】この第1実施形態の遊技機1が図11および図12に示す従来の遊技機1と相違するところは、メダル払い出し口16を、メダル受け皿17へメダルMを排出できる範囲で従前（従来）よりも高くした点である。

【0014】このように、メダル払い出し口16を、メダル受け皿17へメダルMを排出できる範囲で従前よりも高くすると、下面（先端下面）16aとメダル受け皿17aとの間の段差が大きくなるので、メダル払い出し口16から離れたメダル受け皿17の位置へメダルMが排出されることにより、メダルMがより広範囲に広がって積み重なり、メダルMの山積みの高さが低く押さえられるため、メダルMが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのを防止することができる。

【0015】図2はこの発明の第2実施形態である遊技機の部分正面図、図3は図2のQ-Q線による部分拡大断面図であり、図1、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図示を省略した部分は、従来例と同様に構成されている。

【0016】これらの図において、21はメダル誘導ノズルを示し、し字状で、水平部分の端であるメダル流入口21a側がメダル払い出し口16に取り付けられ、メダル払い出し口16からのメダルをメダル受け皿17へ誘導し、メダル排出口21bからメダル受け皿17へメダルを排出するものである。なお、メダル払い出し口16（下面16a）、およびメダル誘導ノズル21の下端、例えばメダル排出口21bの下端は、メダル受け皿17よりも高くされている。

【0017】この第2実施形態の場合、メダル払い出し口16からのメダルをメダル誘導ノズル21で誘導し、メダル受け皿17へ上方からメダルを排出させたので、メダル払い出し口16から離れたメダル受け皿17の位置へメダルが排出されることにより、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さが低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのを防止することができる。そして、メダル排出口21bの下端をメダル受け皿17よりも高くしたので、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さがより低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのをさらに防止することができる。

【0018】なお、第2実施形態の場合、メダル排出口21bの下端をメダル受け皿17よりも高くしたが、メダル排出口21bの下端を従前のメダル払い出し口16の高さよりも高くする（メダル受け皿17よりも高くない範囲で高くする）ことにより、同様な効果を得ることができる。

【0019】図4はこの発明の第3実施形態である遊技機の正面図、図5は図4のR-R線による部分拡大断面

(4)

5

図であり、図1～図3、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。

【0020】これらの図において、22は回動メダル誘導ノズルを示し、S字状で、メダル誘導ノズル21のメダル排出口21b（部分）に上向きの端、すなわちメダル流入口22a側が回動可能に取り付けられ、メダル排出口21bからのメダルをメダル受け皿17へ誘導し、メダル排出口22bからメダル受け皿17へメダルを排出するものである。なお、メダル払い出し口16（下面16a）、メダル誘導ノズル21の下端、例えばメダル排出口21bの下端、および回動メダル誘導ノズル22の下端、例えばメダル排出口22b下端は、メダル受け皿17よりも高くされている。

【0021】この第3実施形態において、回動メダル誘導ノズル22を回動させることにより、メダル排出口22bの位置をメダル受け皿17の左側または右側へ変更することができる。

【0022】この第3実施形態の場合、メダル払い出し口16からメダルをメダル誘導ノズル21および回動メダル誘導ノズル22で誘導し、メダル受け皿17へ上方からメダルを排出させたので、メダル払い出し口16から離れたメダル受け皿17の位置へメダルが排出されることにより、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さが低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのを防止することができる。

【0023】そして、回動メダル誘導ノズル22の下端をメダル受け皿17よりも高くしたので、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さがより低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのを防止することができる。さらに、メダル誘導ノズル21のメダル排出口21bに回動メダル誘導ノズル22を回動可能に取り付けたので、回動メダル誘導ノズル22を回動させ、メダルをメダル受け皿17の左側または右側へ排出させて山積みにすることにより、メダル受け皿17の左側または右側からメダルを最短距離で容易に取り出すことができる。

【0024】また、回動メダル誘導ノズル22の下端をメダル受け皿17よりも高くしたので、回動メダル誘導ノズル22をメダル受け皿17に衝合させることなく回動させることができることにより、メダル受け皿17の奥行き寸法、すなわち遊技機1の奥行き寸法を大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。

【0025】なお、第3実施形態の場合、メダル排出口22bの下端をメダル受け皿17よりも高くしたが、メダル排出口22bの下端を従前のメダル払い出し口16の高さよりも高くする（メダル受け皿17よりも高くない範囲で高くする）ことにより、メダル受け皿17の奥行き寸法が大きくなるものの、同様な効果を得ることができる。

6

【0026】図6はこの発明の第4実施形態である遊技機の部分正面図、図7（a）、（b）は図6のS-S線による部分拡大断面図、メダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図であり、図1～図5、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図示を省略した部分は、従来例と同様に構成されている。

【0027】これらの図において、31はメダル誘導ノズルを示し、遊技機1の前面側から横長の長方形をしたメダル払い出し口16内へ天地を反転させて着脱可能に挿入される断面形状が横長の長方形をした挿入部（メダル流入口）32と、この挿入部32に連設され、挿入部32に対して水平方向の左側または右側へ所定角度で傾斜した四角筒状の誘導ノズル部33と、この誘導ノズル部33と挿入部32との境の外周に周回させて設けられ、前面パネル11に当接するフランジ部34とで構成され、メダル払い出し口16からのメダルをメダル受け皿17へ誘導し、メダル排出口33aからメダル受け皿17へメダルを排出するものである。

【0028】そして、誘導ノズル部33は、上板が先端へ行くにしたがって上昇する傾斜面とされるとともに、下板が先端へ行くにしたがって下降する傾斜面とされ、上板および下板の先端にメダル排出口33aが設けられている。なお、メダル払い出し口16（下面16a）、およびメダル誘導ノズル31の下端は、メダル受け皿17よりも高くされている。そして、誘導ノズル部33の先端（手前側、挿入部32と反対側）は、閉塞されている。

【0029】この第4実施形態において、メダル誘導ノズル31の天地を反転させてメダル払い出し口16に挿入部32を挿入して装着することにより、図7（a）に実線および二点鎖線で示すように、メダル排出口33aの位置をメダル受け皿17の左側または右側へ変更することができる。

【0030】この第4実施形態の場合、メダル払い出し口16からのメダルをメダル誘導ノズル31で誘導し、メダル受け皿17へ上方からメダルを排出させたので、メダル払い出し口16から離れたメダル受け皿17の位置へメダルが排出されることにより、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さが低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのを防止することができる。

【0031】そして、メダル誘導ノズル31の下端、すなわちメダル排出口33aをメダル受け皿17よりも高くしたので、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さがより低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口16を閉ざすのをさらに防止することができる。さらに、メダル誘導ノズル31の天地を反転させてメダル払い出し口16に挿入部32を挿入して装着する、すなわち遊技機1の前後方向

(5)

7

を装着方向とすることにより、メダル排出口33aをメダル受け皿17の左側または右側へ変更できるようにしたので、メダル誘導ノズルを2つ用意することなく、1つのメダル誘導ノズル31でメダル排出口33aの位置を変更させることができるとともに、メダル誘導ノズル31の挿入部32をメダル払い出し口16に対して挿脱することにより、メダル誘導ノズル31の着脱が簡単に行うことができる。

【0032】また、メダルをメダル受け皿17の左側または右側へ排出させて山積みさせることにより、メダル受け皿17の左側または右側からメダルを最短距離で容易に取り出すことができるようになる。そして、メダル誘導ノズル31の下端をメダル受け皿17よりも高くしたので、メダル誘導ノズル31をメダル受け皿17に適合させることなくメダル排出口33aを変更させることができることにより、メダル受け皿17の奥行き寸法、すなわち遊技機1の奥行き寸法を大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。さらに、メダル誘導ノズル31の下板をメダル排出口33aへ向けて下降させたので、メダル誘導ノズル31内にメダル詰まりを発生させないようにすることができる。

【0033】なお、第4実施形態の場合、メダル誘導ノズル31の下端をメダル受け皿17よりも高くしたが、メダル誘導ノズル31の下端を従前のメダル払い出し口16の高さよりも高くする（メダル受け皿17よりも高くならない範囲で高くする）ことにより、メダル受け皿17の奥行き寸法が大きくなるものの、同様な効果を得ることができる。

【0034】図8はこの発明の第5実施形態である遊技機の部分正面図、図9(a)、(b)、(c)は図8のT-T線による部分拡大断面図、図8のU-U線による部分拡大断面図、メダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図であり、図1～図7、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図示を省略した部分は、従来例と同様に構成されている。

【0035】これらの図において、31Aはメダル誘導ノズルを示し、後端の開口（メダル流入口）が天地を反転させてもメダル払い出し口16と同形になる横長の長方形で、この長方形の開口に対して水平方向の左側または右側へ所定角度で傾斜した四角筒状の誘導ノズル部33と、この誘導ノズル部33の後端の外周に周回させて設けられ、前面パネル11に当接する装着係合部としてのフランジ部34とで構成され、メダル払い出し口16からのメダルをメダル受け皿17へ誘導し、メダル排出口33aからメダル受け皿17へメダルを排出するものである。そして、誘導ノズル部33は、上板が先端へ行くにしたがって上昇する傾斜面とされるとともに、下板が先端へ行くにしたがって下降する傾斜面とされ、上板および下板の先端にメダル排出口33aが設けられてい

8

る。

【0036】18は被装着係合部としての支持レールを示し、前面パネル11の前面に、メダル払い出し口16を囲んで上方へ開放するコ字状に取り付けられ、前面パネル11とによって形成される係止溝18aにメダル誘導ノズル31Aのフランジ部34が着脱できるようになっている。なお、支持レール18にフランジ部34を装着すると、メダル払い出し口16は誘導ノズル部33に連通する。そして、メダル払い出し口16（下面16a）、およびメダル誘導ノズル31Aの下端は、メダル受け皿17よりも高くされている。また、誘導ノズル部33の先端（手前側、挿入部32と反対側）は、閉塞されている。

【0037】この第5実施形態において、メダル誘導ノズル31Aの天地を反転させてフランジ部34を支持レール18の係止溝18aに装着することにより、図9(a)に実線および二点鎖線で示すように、メダル排出口33aの位置をメダル受け皿17の左側または右側へ変更することができる。

【0038】したがって、この第5実施形態においても、第4実施形態と同様な効果を得ることができる。また、メダル誘導ノズル31Aの係止溝18aへの装着方向を遊技機1の上下方向としたので、メダル誘導ノズル31Aを着脱が簡単にできるとともに、メダル受け皿17の奥行き寸法、すなわち遊技機1の奥行き寸法を大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。

【0039】なお、第5実施形態の場合、メダル誘導ノズル31Aの下端をメダル受け皿17よりも高くしたが、メダル誘導ノズル31Aの下端を従前のメダル払い出し口16の高さよりも高くする（メダル受け皿17よりも高くならない範囲で高くする）ことにより、メダル受け皿17の奥行き寸法が大きくなるものの、同様な効果を得ることができる。

【0040】図10はこの発明の第6実施形態である遊技機のメダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図であり、図1～図9、図11および図12と同一または相当部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図示を省略した部分は、従来例と同様に構成されている。

【0041】この第6実施形態が第5実施形態と相違するところは、被装着係合部としての支持レール18Aの向きが異なる点である。すなわち、被装着係合部としての支持レール18Aは、前面パネル11の前面に、メダル払い出し口16を囲んで左側へ開放するコ字状（右側へ開口するコ字状であってもよい。）に取り付けられ、前面パネル11とによって形成される係止溝18aにメダル誘導ノズル31Aのフランジ部34が着脱できるようになっている。

【0042】この第6実施形態において、メダル誘導ノズル31Aの天地を反転させてフランジ部34を支持レ

(6)

9

ール18Aの係止溝18aに装着することにより、図7(a)または図9(a)に実線および二点鎖線で示すように、メダル排出口33aの位置をメダル受け皿17の左側または右側へ変更することができる。

【0043】したがって、この第6実施形態においても、第4または第5実施形態と同様な効果を得ることができる。なお、第6実施形態の場合、メダル誘導ノズル31Aの下端をメダル受け皿17よりも高くしたが、メダル誘導ノズル31Aの下端を従前のメダル払い出し口16の高さよりも高くする(メダル受け皿17よりも高くない範囲で高くする)ことにより、メダル受け皿17の奥行き寸法が大きくなるものの、同様な効果を得ることができる。

【0044】

【発明の効果】以上のように、請求項1の発明によれば、メダル払い出し口を、メダル受け皿へメダルを排出できる範囲で従前よりも高くしたので、メダル払い出し口の下面とメダル受け皿のメダル受け面との間の段差が大きくなる。したがって、メダル払い出し口から離れたメダル受け皿の位置へメダルが排出されることにより、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さが低く押さえられるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することができる。

【0045】また、請求項2の発明によれば、メダル払い出し口を従前よりも高くし、メダル払い出し口に、メダル受け皿へメダルを誘導するメダル誘導ノズルを取り付け、このメダル誘導ノズル下端をメダル受け皿よりも高くしたので、メダル払い出し口からのメダルをメダル誘導ノズルで誘導し、メダル受け皿へメダルを排出する。したがって、メダル払い出し口から離れたメダル受け皿の位置へメダルが排出されることにより、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さが低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することができる。

【0046】また、請求項3の発明によれば、メダル誘導ノズルのメダル排出口に回転メダル誘導ノズルを取り付け、この回転メダル誘導ノズルの下端を従前のメダル受け皿よりも高くしたので、回転メダル誘導ノズルを回転させ、メダルをメダル受け皿の左側または右側へ排出させて山積みにする事により、メダル受け皿の左側または右側からメダルを最短距離で容易に取り出すことができる。また、請求項4の発明によれば、回転メダル誘導ノズルの下端をメダル受け皿よりも高くしたので、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さがより低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することができる。とともに、回転メダル誘導ノズルをメダル受け皿に衝合させることなく回転させることができることにより、メダル受け皿の奥行き寸法、すなわち遊技機の奥行き寸法を

10

大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。

【0047】また、請求項5の発明によれば、メダル誘導ノズルを着脱可能に取り付けることにより、メダル誘導ノズルの天地を反転させて取り付けることにより、メダル誘導ノズルのメダル排出口をメダル受け皿の左右へ変更できるようにしたので、メダル誘導ノズルを2つ用意することなく、1つのメダル誘導ノズルで所期の目的を達成することができる。また、請求項6の発明によれば、メダル誘導ノズルの着脱方向を前後方向にしたので、例えばメダル誘導ノズルの挿入部をメダル払い出し口に対して着脱することにより、メダル誘導ノズルの着脱が簡単にできるとともに、メダル受け皿の奥行き寸法、すなわち遊技機の奥行き寸法を大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。

【0048】また、請求項7の発明によれば、メダル誘導ノズルの着脱方向を上下方向または左右方向にしたので、例えばメダル誘導ノズルの被装着部を係止溝に対して係脱させることにより、メダル誘導ノズルの着脱が簡単にできる。また、請求項8の発明によれば、メダル誘導ノズルの下端をメダル受け皿よりも高くしたので、メダルがより広範囲に広がって積み重なり、メダルの山積みの高さがより低くなるため、メダルが山積みになってメダル払い出し口を閉ざすのを防止することができる。とともに、回転メダル誘導ノズルをメダル受け皿に衝合させることなく回転させることができることにより、メダル受け皿の奥行き寸法を大きくすることなく、所期の目的を達成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1実施形態である遊技機のメダル払い出し口部分を示す部分拡大断面図である。

【図2】この発明の第2実施形態である遊技機の部分正面図である。

【図3】図2のQ-Q線による部分拡大断面図である。

【図4】この発明の第3実施形態である遊技機の正面図である。

【図5】図4のR-R線による部分拡大断面図である。

【図6】この発明の第4実施形態である遊技機の部分正面図である。

【図7】(a)、(b)は図6のS-S線による部分拡大断面図、メダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図である。

【図8】この発明の第5実施形態である遊技機の部分正面図である。

【図9】(a)、(b)、(c)は図8のT-T線による部分拡大断面図、図8のU-U線による部分拡大断面図、メダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図である。

【図10】この発明の第6実施形態である遊技機のメダル誘導ノズルを装着する状態の部分拡大斜視図である。



(7)

11

12

【図11】従来の遊技機の一例を示すメダル受け皿の一部を破断した正面図である。

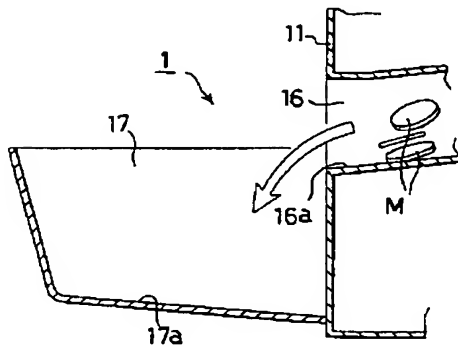
【図12】図11のP-P線による部分拡大断面図である。

【符号の説明】

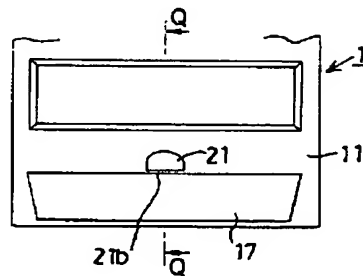
1 遊技機  
11 前面パネル  
12 表示窓  
13 メダル投入口  
14 スタート釦  
15A ストップ釦  
15B ストップ釦  
15C ストップ釦  
16 メダル払い出し口  
16a 下面  
17 メダル受け皿  
17a メダル受け面  
18 支持レール

18A 支持レール  
18a 係止溝  
21 メダル誘導ノズル  
21a メダル流入口  
21b メダル排出口  
22 回動メダル誘導ノズル  
22a メダル流入口  
22b メダル排出口  
31 メダル誘導ノズル  
31A メダル誘導ノズル  
32 挿入部  
33 誘導ノズル部  
33a メダル排出口  
34 フランジ部  
41A リール  
41B リール  
41C リール  
M メダル

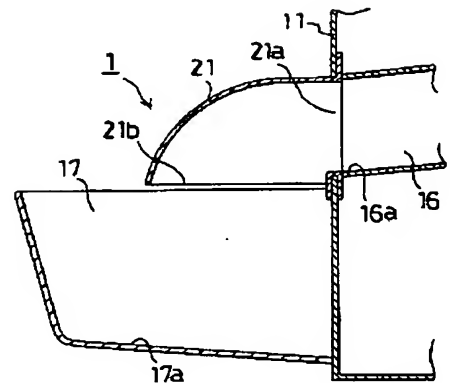
【図1】



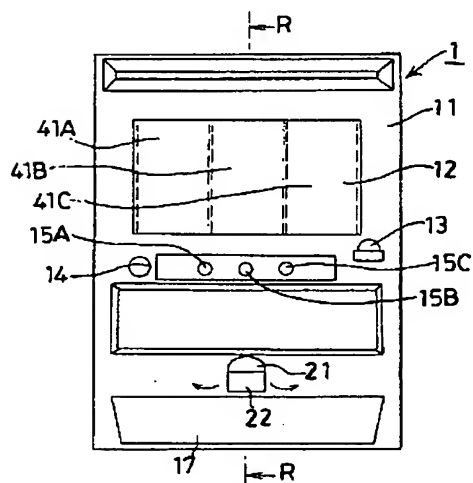
【図2】



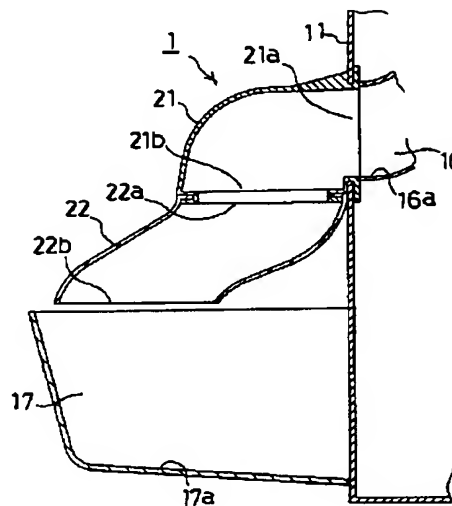
【図3】



【図4】

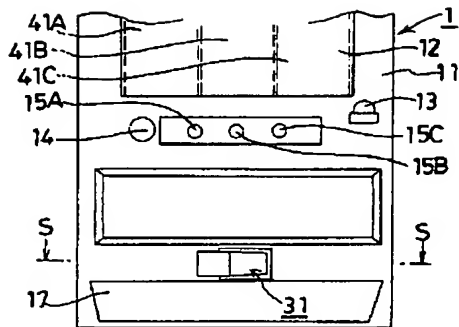


【図5】

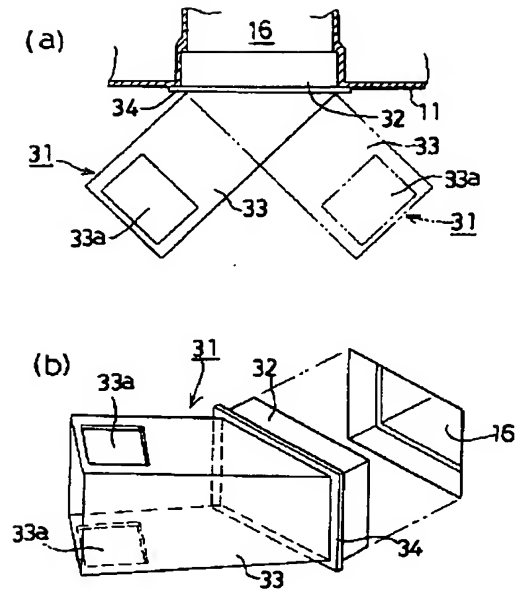


(8)

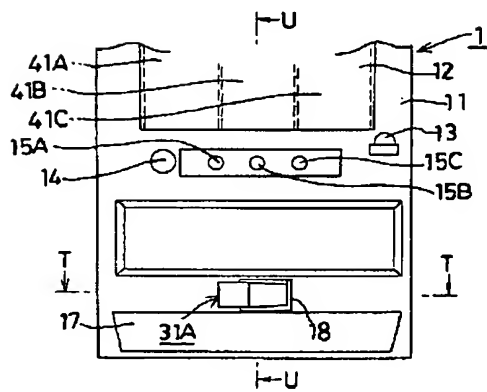
【図6】



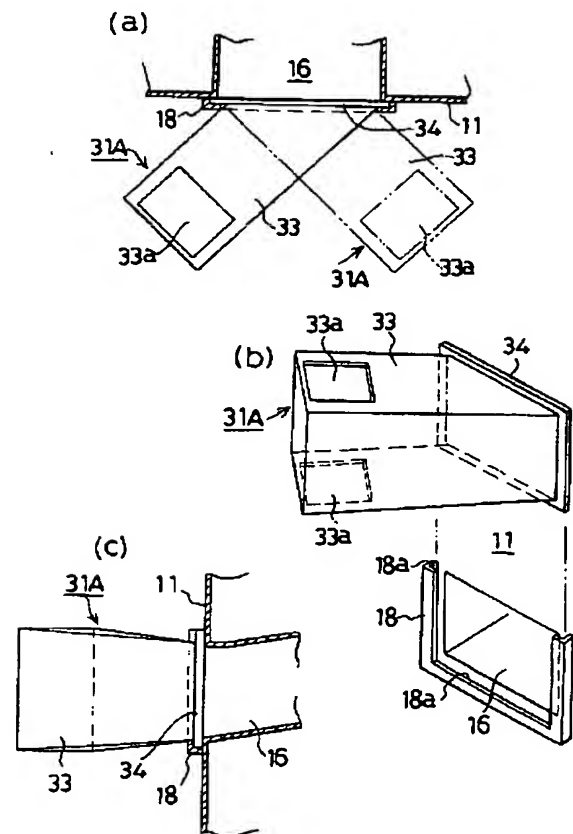
【図7】



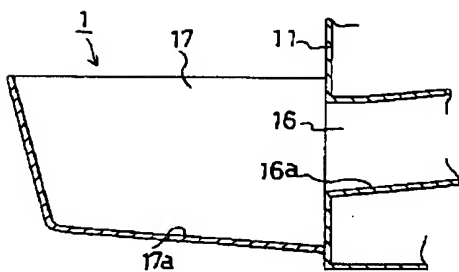
【図8】



【図9】

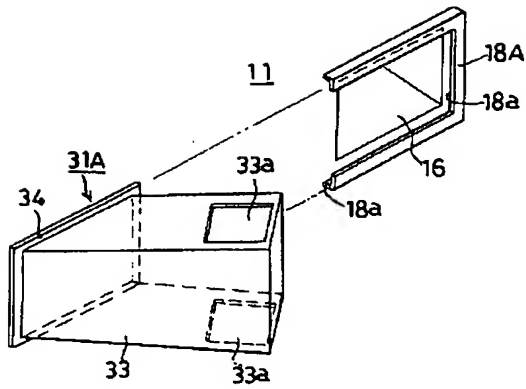


【図12】



(9)

【図10】



【図11】

